

ひびきが第三者割当増資

埼玉りそな系から1億円

やきとりチェーンを運営するひびき（埼玉県川越市）は、第三者割当増資による優先株発行で1億円を調達した。1月29日に埼玉りそな銀行などが出資する中小企業向けファンドに優先株を割り当てた。ひびきは調達した資金を研修制度の充実や、新業態の開発などに活用する方針だ。

同社はシンガポールに進出するなど国内外で出店を進めており、さらなる成長に向けて財務基盤の強化が必要と判断した。財務内容が改善し、

新たな融資を受けやすくなる効果も期待する。

調達資金を活用して設ける新たな研修制度では、衛生や防災、産地研修など分野ごとにプログラムを設ける。外部から講師を招いたり、農場を

見学したりする内容を想定している。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、訪日外国人を意識した新たな業態の出店資金に充てることも検討する。

引受先のファンドは、

埼玉りそな銀行が昨年、将来性のある中小企業の優先株を引き受ける目的で設立したもので、今回が第1号案件。地元企業の成長を後押しするとともに、関係の強化につながる狙いもある。一般に優先株は議決権が制限されるが、普通株に比べて優先的に配当を受けられることができ、通常の融資より高い利回りを期待できる。

許諾番号 30046433 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。